

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成27年10月15日 (2015.10.15)

【公表番号】特表2014-528370(P2014-528370A)

【公表日】平成26年10月27日 (2014.10.27)

【年通号数】公開・登録公報2014-059

【出願番号】特願2014-533813(P2014-533813)

【国際特許分類】

B 2 9 C 45/14 (2006.01)

B 2 9 C 45/16 (2006.01)

B 2 9 C 33/18 (2006.01)

B 2 9 C 45/26 (2006.01)

【 F I 】

B 2 9 C 45/14

B 2 9 C 45/16

B 2 9 C 33/18

B 2 9 C 45/26

【誤訳訂正書】

【提出日】平成27年8月28日 (2015.8.28)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

プラスチック加飾部材の製造法であって、

a . ポリマーフィルム (2) を射出成形用金型にインサートし、ここで、該ポリマーフィルム (2) は、少なくとも 2 5 0 の温度で分解に対して安定な、不透明若しくは部分的に不透明なインプリント部分 (4) 又は顔料着色部分を有し、かつ、ここで、ポリマーフィルム (2) を、静電放電又は真空吸引により射出成形用金型に固定する、

b . 該ポリマーフィルム (2) をポリマーキャリア部材 (1) でバック射出し、かつ

c . ポリマーカバー部材 (3) を該ポリマーフィルム (2) 及びポリマーキャリア部材 (1) 上に射出する、方法。

【請求項 2】

前記ポリマーキャリア部材 (1) が、ポリエチレン (P E)、ポリカーボネート (P C)、ポリプロピレン (P P)、ポリスチレン、ポリブタジエン、ポリニトリル、ポリエステル、ポリウレタン、ポリメチルメタクリレート、ポリアクリレート、ポリアミド、ポリエチレンテレフタレート (P E T)、ポリブチレンテレフタレート (P B T) 又はこれらのコポリマー若しくは混合物を含有する、請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】

前記ポリマーキャリア部材 (1) を不透明に形成する、請求項 1 又は 2 記載の方法。

【請求項 4】

前記ポリマーキャリア部材 (1) を、 0 . 5 m m ~ 1 0 m m の厚みで射出成形する、請求項 1 から 3 までのいずれか 1 項記載の方法。

【請求項 5】

前記ポリマーカバー部材 (3) が、ポリカーボネート (P C)、ポリメチルメタクリレート (P M M A)、スチレン - アクリロニトリル (S A N)、ポリエチレンテレフタレー

ト (P E T) 又はこれらのコポリマー若しくは混合物を含有する、請求項 1 から 4 までのいずれか 1 項記載の方法。

【請求項 6】

前記ポリマーカバー部材 (3) を透明に形成する、請求項 1 から 5 までのいずれか 1 項記載の方法。

【請求項 7】

前記ポリマーカバー部材 (3) 上に、ハードコート (6) を施与する、請求項 1 から 6 までのいずれか 1 項記載の方法。

【請求項 8】

前記ポリマーフィルム (2) が、ポリカーボネート (P C)、ポリメチルメタクリレート (P M M A)、ポリエチレンテレフタレート (P E T)、ポリブチレンテレフタレート (P B T)、ポリカーボネート / ポリブチレンテレフタレート (P B T / P C)、スチレン - アクリロニトリル (S A N) 又はこれらのコポリマー若しくは混合物を含有する、請求項 1 から 7 までのいずれか 1 項記載の方法。

【請求項 9】

前記ポリマーフィルム (2) が、 0 . 1 m m ~ 3 m m の厚みを有する、請求項 1 から 8 までのいずれか 1 項記載の方法。

【請求項 10】

前記ポリマーフィルム (2) を予め形作る、請求項 1 から 9 までのいずれか 1 項記載の方法。